



令和6年度

事業報告書

一般社団法人 北海道軽種馬振興公社

議案第 1 号 令和 6 年度事業報告

令和 6 年度事業報告（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日）

当公社は、ホッカイドウ競馬を継続かつ安定的に運営し、令和 3 年 3 月に北海道が策定した第 3 期「北海道競馬推進プラン」を達成するため、「北海道競馬の実施に関する業務」の委託を受け、馬資源の確保と屋内調教用坂路などの競馬場施設の効率的・効果的な利用を図ることを基本として競馬事業の運営にあたった。

1. 公社運営に関する会議等

(1) 総 会

ア 第48回通常総会

令和6年6月24日

- ・ 令和 5 年度事業報告
- ・ 貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書について

(2) 理事会

ア 令和6年度第1回理事会

令和6年5月29日

- ・ 令和 5 年度事業報告
- ・ 貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書について
- ・ 第 4 8 回通常総会の開催について

イ 令和6年度第2回理事会

令和6年12月10日

- ・ 令和 6 年度ホッカイドウ競馬開催結果について
- ・ 令和 7 年度ホッカイドウ競馬開催日程等について
- ・ 門別競馬場施設整備について

ウ 令和6年度第3回理事会

令和7年3月28日

- ・ 事業運営の基本方針について
- ・ 令和 7 年度事業計画（案）について
- ・ 令和 7 年度収支予算（案）について
- ・ 一般社団法人北海道軽種馬振興公社事務局規定の一部改正について

(3) 監 査

監事監査

令和6年5月24日

2. 北海道競馬実施事業

(1) 競馬事業費について

公社が道から委託及び補助を受け実施した業務の事業費は5 5 億 3 5 百万円。

内訳	・ 競馬事業費	3 0 億 8 8 百万円（予算額 3 0 億 4 2 百万円）
	・ 管理事業費	2 4 億 4 7 百万円（予算額 2 6 億 6 4 百万円）

(2) 開催日程について

令和6年度のホッカイドウ競馬は、4月17日に開幕し、天候に恵まれたことにより、当初計画どおり11月7日までの84日間を開催することができました。

発売成績については、インターネット投票の発売金額が堅調に推移したことにより、昨年に引き続き5年連続で500億円台を確保し、過去最高の543億6,567万円を記録しました。

また、1日あたりの平均発売額も過去最高の6億4,721万を記録しました。

(3) 報償費について

令和6年度から実施される3歳ダート三冠競走に向け、ホッカイドウ競馬でも強い3歳馬の確保を目指し、3歳牝馬重賞の新設や北海道スプリントカップを3歳限定戦としたほか、岩手との隔年開催となる3歳短距離路線ネクストスター北日本を実施しました。

併せて、既存の3歳重賞競走についても増額を図り、2歳及び3歳以上の重賞競走についても全体的なバランスを考慮し、2歳戦のイノセントカップを廃止し、3歳以上戦で2競走ポラリスサマースプリント、グランシャリオクイーンズを新設実施した。

また、3歳以上特別競走の賞金額の底上げを図ったほか、最上位クラスの出走手当も増額しました。

さらに、春先の出走馬確保を目的に、早期出走奨励金・冬期在厩3歳馬手当や冬期他場重賞遠征費補助など拡充継続し、一定の条件を満たした3歳馬の遠征に対し奨励金を支給しました。

なお、輸送費と馬購入費に対する補助事業についても継続実施し、スタリオンシリーズにつきましても、一般社団法人ジャパンプリーダーズカップ協会様・公益社団法人日本軽種馬協会様のご支援のもと、例年同様実施しました。

また、重賞競走（2歳戦及び3歳限定戦を除く）において、定めたカテゴリーの競走に多勝利した馬主およびきゅう舎関係者に報償金を支給するカウントアップチャレンジ競走につきましても、一般社団法人ジャパンプリーダーズカップ協会様のご支援のもと、継続実施しました。

報償費総額	3 4 億 1 1 百万円
（うち J R A 協力金	3 億 6 7 百万円）
（うち J B C 協会寄付金	1 5 百万円）

(4) 発売拡大の取り組み

令和6年度は、発売額の大半を占める在宅投票を意識した魅力ある情報や、ホッカイドウ競馬の特色である2歳戦にフォーカスした新たな情報の提供に向けた取組を進めたほか、ナイターアニバーサリー実施30周年およびグランシャリオナイター15周年記念事業を実施し、門別競馬場での記念イベントや各種キャンペーンを実施し、顧客の拡大を図りました。

ア 集客イベント

本場での主な集客イベントについては、次のとおりです。

- ・開幕イベント（4/17）
- ・ホッカイドウ競馬ナイターアニバーサリーSPRING（5/1～5/2）
- ・ホッカイドウ競馬ナイターアニバーサリーSUMMER（8/15）
- ・2024 ホッカイドウ競馬ファイナルウィーク（11/4～11/7）

例年実施している「開幕」、「春」、「夏」、「秋」のイベントに加え、近隣町村に協賛をいただき実施している1DAYイベントに合わせて特産品の物販や抽選会に加え、地元中学、高校生によるファンファーレ生演奏などを実施しました。

また、昨年に引き続き、スポーツ紙とのタイアップによる広告や雑誌掲載等の様々なメディアを活用した情報発信の充実に努めました。

イ 他主催者との連携強化による相互発売

南関東とホッカイドウ競馬の相互発売拡大を図る目的から専門紙および関東のスポーツ紙による馬柱掲載を2競走から3競走に拡大し、情報発信の充実に図り、南関東への発起同競馬発売対象レースの拡大に努めました。

ウ 電話・インターネット投票

近年、好調なインターネット投票の更なる発売拡大を図るため、YouTube ホッカイドウ競馬 LIVE「なまちゃき」を昨年に引き続き毎週木曜日を中心に多彩なゲスト迎えて全44回配信し、スポーツ新聞へのQRコード掲載やGoogle 広告を駆使して告知に強化した結果、チャンネル登録者2万4,000人を達成しました。

また、発売額が大きく見込まれる日程の前に在京マスコミ各社へPRキャラバンを実施。他にもWEB広告を強化し、新しい告知方法にも着手しました。

さらに、2023年12月から運用開始したLINEについては、開幕ま

でに1万6,000人まで友だち登録を拡大。注目レースを中心に月2回ほど会員（友だち）に向けて、開催情報や各種販売促進キャンペーン・注目イベント情報を送付し、新たな告知ツールとして活用し、情報発信の強化に努めました。

エ 全国発売競走

全国重賞シリーズであるグランダム・ジャパン、3歳スプリント、未来優駿などのシリーズ競走に参画したほか、ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド門別を実施し、全国発売による発売拡大を図りました。

オ JRA発売

道内のホッカイドウ競馬場外発売所におけるJRA発売は、当初予定どおり106日間の発売となりました。

また、場外発売所への来場促進策および発売拡大策として、以下のイベントを実施しました。

- ・「北海道の翼AIRDOで行く 大井競馬場観戦ツアー」（4月17日～5月12日）
- ・「北海道日本ハムファイターズ×ホッカイドウ競馬コラボキャンペーン」（7月13日～8月15日）
- ・「ホッカイドウ競馬LINEの来場ポイントを貯めて 北海道グルメを当てよう！」（12月23日～2025年1月5日）

（5）競馬番組について

競馬番組は、競馬事業の根幹部分であることから、ファンに魅力ある競走を提供していくことが重要です。

ホッカイドウ競馬では、日本中央競馬会や地方競馬全国協会並びにジャパンブリーダーズカップ協会、日本軽種馬協会など各方面からのご支援やご協力のもと、各世代においてバリエーション豊かな競走距離を編成することにより競馬番組の充実を図りました。

ア JRA認定競走

JRA協力金のもと、全国最多の111競走を実施しました。

- | | |
|--------|------|
| ・重賞競走等 | 9競走 |
| ・ウィナーズ | 12競走 |
| ・フレッシュ | 55競走 |
| ・アタック | 35競走 |

イ JBC協会協賛 スタリオンシリーズ競走

ホッカイドウ競馬の特色ある競走として定着し、全国から注目されているスタリオンシリーズ競走を、JBC協会のご支援のもと全50競走実施しました。

- ・重賞競走 30競走
- ・特別競走（3歳以上） 2競走
- ・スタリオンプレミアムシリーズ競走 18競走

ウ JBC協会協賛「きゅう舎スタッフ特別賞」

きゅう舎関係者の技術向上の意欲を高めるため、JBC協会のご支援のもと重賞競走及び3歳条件競走で優勝したきゅう舎に特別賞を交付するJBC協会「きゅう舎スタッフ特別賞」を贈呈しました。

- ・対象競走
 - 2歳重賞競走 9競走
 - 3歳重賞競走 7競走
 - 3歳条件競走 16競走
- ・交付金
 - 重賞競走 10万円
 - 3歳条件競走 5万円

エ JBC協会協賛「カウントアップチャレンジ2024」

3歳以上の重賞競走を距離適性に応じてシリーズ化し、各カテゴリー（カウントアップS、カウントアップM、カウントアップL）において複数回優勝した馬主及び調教師に対して、JBC協会からボーナスが贈呈されました。

- ・2024対象馬
 - カウントアップS ストリーム2勝（田中淳司きゅう舎）200万円
 - カウントアップS スペシャルエックス2勝（田中淳司きゅう舎）200万円
 - カウントアップM ベルピット5勝（角川きゅう舎）900万円
 - カウントアップL サンオークレア2勝（五十嵐きゅう舎）200万円

オ 公益社団法人日本軽種馬協会による副賞贈呈事業

牝馬の所有意欲の継続と牝馬限定競走の維持拡大による軽種馬生産経営安定化に資する観点から、日本軽種馬協会の支援のもと実施する「牝馬限定競走勝馬馬主への副賞贈呈事業」について全45競走を対象に実施しました。

（総額1,150万円）

カ 2歳優良馬導入促進事業の実施

良質な2歳馬の地方競馬への早期入厩促進を図ることを目的に、地方競馬全国協会が実施する事業を活用し、2歳限定競走（JRA認定競走を除く）において付加賞金を1着馬から5着馬までの馬主に贈呈しました。

- ・付加賞金（進上金、番組賞金加算対象外）

- 1 着 60 万円、2 着 16.8 万円、3 着 12.6 万円、4 着 8.4 万円、5 着 4.2 万円
(1 R あたり : 102 万円) 5 5 競走
- 1 着 80 万円、2 着 22.4 万円、3 着 16.8 万円、4 着 11.2 万円、5 着 5.6 万円
(1 R あたり : 136 万円) 1 競走
- ・実施競走数 5 6 競走

キ NAR 生産牧場賞

生産地への還元と生産者における地方競馬の魅力を高める取り組みとして、地方競馬が実施するダートグレード競走、2 歳新馬の競走の 1 着馬の生産牧場に対し、日本軽種馬協会の支援のもと、地方競馬全国協会から「NAR 生産牧場賞」が贈呈されました。

- ・ダートグレード競走 50 万円
- ・ネクストスター競走 40 万円
- ・2 歳新馬競走 30 万円

ク 地方競馬全国協会シリーズ競走への参加

・3 歳スプリントシリーズ

兵庫チャンピオンシップに向け実施する春の「3 歳スプリントシリーズ」に参加。(北日本ブロック、岩手と隔年で実施)

・対象競走「ネクストスター北日本(カウァッジオ賞)」1 着本賞金 1, 200 万円

実施日 4 月 1 8 日 (木) 距離 1, 2 0 0 m
発売額 3 6 2, 7 0 3 千円

・グランダム・ジャパン

牝馬重賞競走をシリーズ化して実施する「全国牝馬重賞シリーズグランダム・ジャパン」に参加。

・対象競走「ノースクイーンカップ H2(ダノスマッシュ賞)」1 着本賞金 600 万円

実施日 7 月 1 8 日 (木) 距離 1, 8 0 0 m
発売額 2 8 3, 4 5 4 千円

・対象競走「フリーダース・ゴールド・カップ Jpn III」1 着本賞金 3, 100 万円

実施日 8 月 2 7 日 (火) 距離 2, 0 0 0 m
発売額 6 6 7, 2 9 7 千円

・対象競走「エーデルワイス賞 Jpn III」1 着本賞金 2, 000 万円

実施日 1 0 月 3 1 日 (木) 距離 1, 2 0 0 m
発売額 5 1 3, 7 7 8 千円

・未来優駿 2024

兵庫ジュニアグランプリや全日本 2 歳優駿に向けた 2 歳重賞体系整備を目的に設定され、全国 1 1 か所で実施される「未来優駿」に参加。

・対象競走「ネクストスター門別 H1(サンダーズノ賞)」1着賞金1,000万円

実施日 10月3日(木) 距離1,200m

発売額 272,227千円

・対象競走「JBC2歳優駿(パイロ賞)」1着賞金3,500万円

実施日 11月3日(月) 距離1,800m

発売額 884,168千円

・ヤングジョッキーズシリーズ

若手騎手の騎乗数の確保と騎乗技術の向上を図るため、JRAと地方の見習騎手が参加する騎手交流競走を「2024ヤングジョッキーズトライアルラウンド門別」として実施しました。

実施日 8月7日(水) 2競走

(6) ファンサービスについて

令和6年度は無料送迎バスの運行を継続したほか、イベント広場を活用した春・夏・秋の大型イベントの実施など集客に努めるとともに、開幕CM告知や新たにWEB広告などを着手し、年間を通じた幅広い層へのホッカイドウ競馬の認知拡大に努めて参りました。

特に主要なターゲットとなる在宅投票の道内外のファンに向けては、ホッカイドウ競馬ならではの2歳馬情報をYouTube配信したほか、様々なメディアを通じた情報発信に力を入れて参りました。

中学・高校吹奏楽部によるファンファーレ生演奏やイベント広場を活用したホスピタリティの高いファンサービスの提供や地元と連携したイベント、連携企業や道内スポーツクラブとタイアップしたイベントなどファンサービスを強化し、新たなファンの獲得とリピーターの拡大に努めました。

また、JBC競走共催場である佐賀競馬との連携を強化し、相互でコラボイベントなどを実施し、北海道と九州の馬産地によるPRを全国の競馬ファンへアピールするとともに、当日の競馬参加者の拡大を図りました。

ア イメージキャラクター起用

ホッカイドウ競馬公式アンバサダーとして、元日本ハムファイターズ杉谷拳士氏を起用、イメージポスターやCM出演のほかトークショーイベント出演などより多くの競馬ファンの来場促進を図りました。

イ 地域吹奏楽部によるファンファーレ演奏

JBC2歳優駿競走の実施日において、昨年に引き続き大井競馬場と連携し、東京トゥインクルファンファーレ隊による生演奏、地元富川高校吹奏楽部を招いたコラボ演奏を実施しました。

8月8日の「びらとりDAY」では平取中学校吹奏楽部、最終日の「道営記念」

では富川高校吹奏楽部によるファンファーレ生演奏を実施しました。

ウ イベント広場の活用

北海道の四季に合わせた春・夏・秋のイベントにおいて、地元食材や観光PR「特産市」などの場を提供しました。

また、8月27日には佐賀競馬場で出店している「カフェ FUJI」が門別競馬場で特別出店しました。そして、9月29日には、門別競馬場で出店している「いずみ食堂」が佐賀競馬場で特別出店しました。

エ 道外新聞への馬柱掲載の充実

発売額が好調に推移したインターネット及び電話投票の更なる発売拡大を図るため、これまで同様広いエリアでの認知を高めることを目的に、関東・東海・関西エリアのスポーツ新聞に馬柱掲載を行いました。

〔サンケイスポーツ、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知、東京スポーツ、中京スポーツ、大阪スポーツ、九州スポーツ 8紙2レース掲載〕
※関東面のみ3レース掲載に拡大 除く中京・大阪・九州スポーツ

また、週刊競馬ブックでの重賞競走馬柱掲載やブックオンライン（ホームページ）無料ダウンロードも全競走に拡大し、開催期間合計で45万ダウンロードを記録しました。

オ SPAT4及び楽天競馬との連携

これまで実施している南関東電話投票（SPAT4）及び楽天競馬との連携により、会員へのメール配信・ホッカイドウ競馬情報の郵送・動画配信、日高の特産物やオリジナルグッズなどが当たるファンプレゼントの継続実施のほか、ネット上において他の主催者と競合する企画と差別化を図るため、道内の企業の協力を得て北海道ブランドを前面に打ち出したプレゼントキャンペーンを実施しました。昨年に引き続き購入者を対象としたSPAT4馬産地見学ツアー等を実施しました。

カ 無料送迎バスの集客拡大

札幌圏からの来場促進を目的とした、札幌駅北口から門別競馬場までの無料送迎バスの運行を再開し、84日間合計101便を運行、予約人数は延べ5,665人利用しました。

(7) 北海道著名企業とのコラボレーション

「MADE IN HOKKAIDO KEIBA」をスローガンに、北海道を代表する著名企業とのコラボレーションを図りました。

- ・ サッポロビール、ポッカサッポロ
重賞競走の協賛、協賛競走の実施やプレゼント抽選会
- ・ A I R D O サンクスデー
重賞競走の協賛、機内販売スーパの試飲会やオリジナルグッズ抽選会
- ・ レバンガ北海道ティップオフナイター
重賞競走の協賛、現役選手とのファン交流会や予想トークステージ
- ・ ソメスサドル
重賞競走の協賛、抽選会への賞品提供など
- ・ 北海道コンサドーレ札幌DAY
重賞競走の協賛、抽選会への賞品提供など
- ・ ホクレンDAY
重賞競走の協賛、抽選会への賞品提供など
- ・ 雪印メグミミルク
重賞競走の協賛、先着プレゼントの賞品提供など
- ・ 北海道日本ハムファイターズ
場外発売所への来場促進イベントの実施など

(8) 門別競馬場を活用した馬産地の活性化（公益目的実施事業）

公益目的実施事業として、軽種馬生産の振興と馬産地の活性化に資するためのイベントを実施しました。